



学校図書館だより

平成22年10月25日

木の葉は色づき、風もひんやり冷たく感じられるようになりました。自然はすてきな絵のように秋色を重ねて、私達をうっとりさせてくれます。じっくりと見る、じっくりと聞く、じっくりと読む……そんな、じっくりと味わう時間が秋には流れているのでしょうか。



丹誠こめて育てた野菜や果物は、ほっくりと実りのときを迎えて、されるのを待っています。自然の恵みのありがたさをあらためて感じる季節でもあります。おいしい食べ物は体の栄養になってみなさんの元気のもとになってくれます。

そして、本を読むことは、心の栄養になってみなさんの知識や気持ちを豊かに広げることになってくれます。



「熟語」～べんりなことば～



(渡り廊下にポケモン熟語大辞典を紹介中)

二字以上の漢字が結びついて、ひとつのまとまった意味をあらわすことばのことを、「熟語」といいます。この「熟語」も、「熟」と「語」が結びついて、ひとつのまとまった意味をあらわすことばになりました。「熟」という字がかぎをにぎっています。

「熟」の字には「灬」がついています。下にある四つの点は、火。つまり、ものを煮たり、ものが煮えたりすることをあらわしています。ものが煮えると、やわらかくおいしくなることから、くだものがうれて甘くなったり、ものごとが十分な状態になることも、この文字であらわすようになりました。「半熟のタマゴ」「完熟トマト」「文章が未熟」「熟睡する」など、「熟」の字のつく熟語をいくつかならべてみると、その意味がよくわかります。熟語は漢字と漢字を結びつけることで、ことばをよりべんりに、完全なものにしてきました。(「熟語の話」木暮正夫 岩崎書店 より)

ここで「秋」という漢字を使った四字熟語をひとつ紹介しましょう。

「一日千秋」(いちじつせんしゅう)。「千秋」とは、秋が千回ということ。つまり千年(!)です。一日が千年にも感じられるほど、待ち遠しいと言う意味です。「なかなか時間がたたないなあ。やっと来たぞ! 待ったぶん、喜びはひとしおだ。」といった感じですか? 気持ちが伝わってきましたか?

